

## 発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果 &lt;1/2&gt;

参考値

(データ集約 : 10/25)

採取場所	福島第一 西門						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	平成25年10月24日 7時00分 ~ 12時00分							
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )		
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03	
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03	
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03	

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

E - とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-7Bq/cm<sup>3</sup>。粒子状のI-131が約4E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

## 発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果 &lt;2/2&gt;

参考値

(データ集約：10/25)

採取場所	福島第一 1号機北側法面上		福島第一 1, 2号機西側法面上		福島第一 3, 4号機西側法面上		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	平成25年10月24日 7時37分～12時37分		平成25年10月24日 7時54分～12時54分		平成25年10月24日 7時50分～12時50分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )		
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03	
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03	

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

E-とは、×10<sup>-</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>。粒子状のI-131が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約9E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 発電所敷地海側における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：10/25)

採取場所	福島第一 1 ~ 4号機近傍海側						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	平成25年10月24日 7時43分 ~ 12時43分							
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )		
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03	
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03	
Cs-137 (約30年)	1.5E-07	0.00					3E-03	

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E - とは、. × 10<sup>-</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

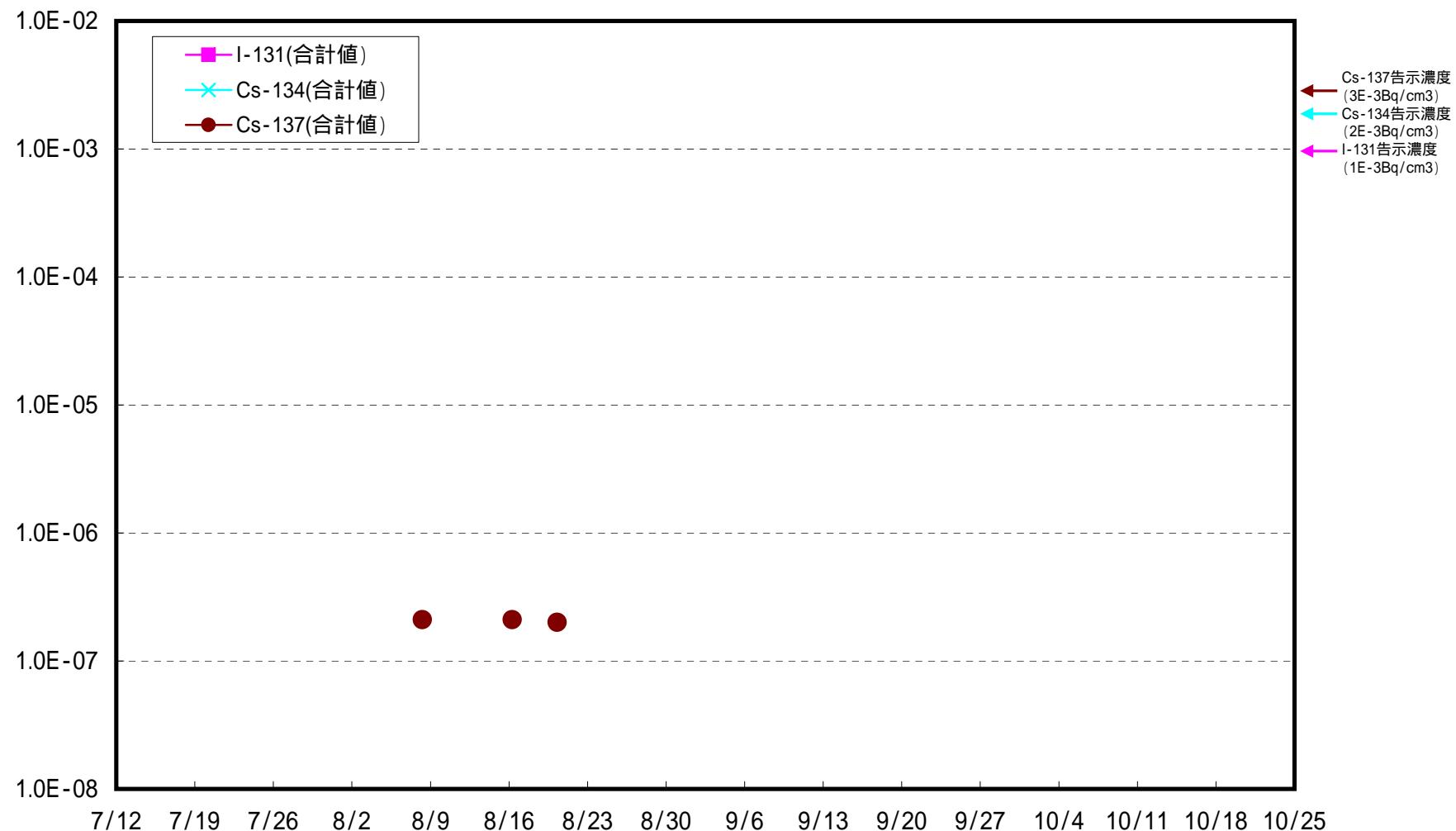
本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

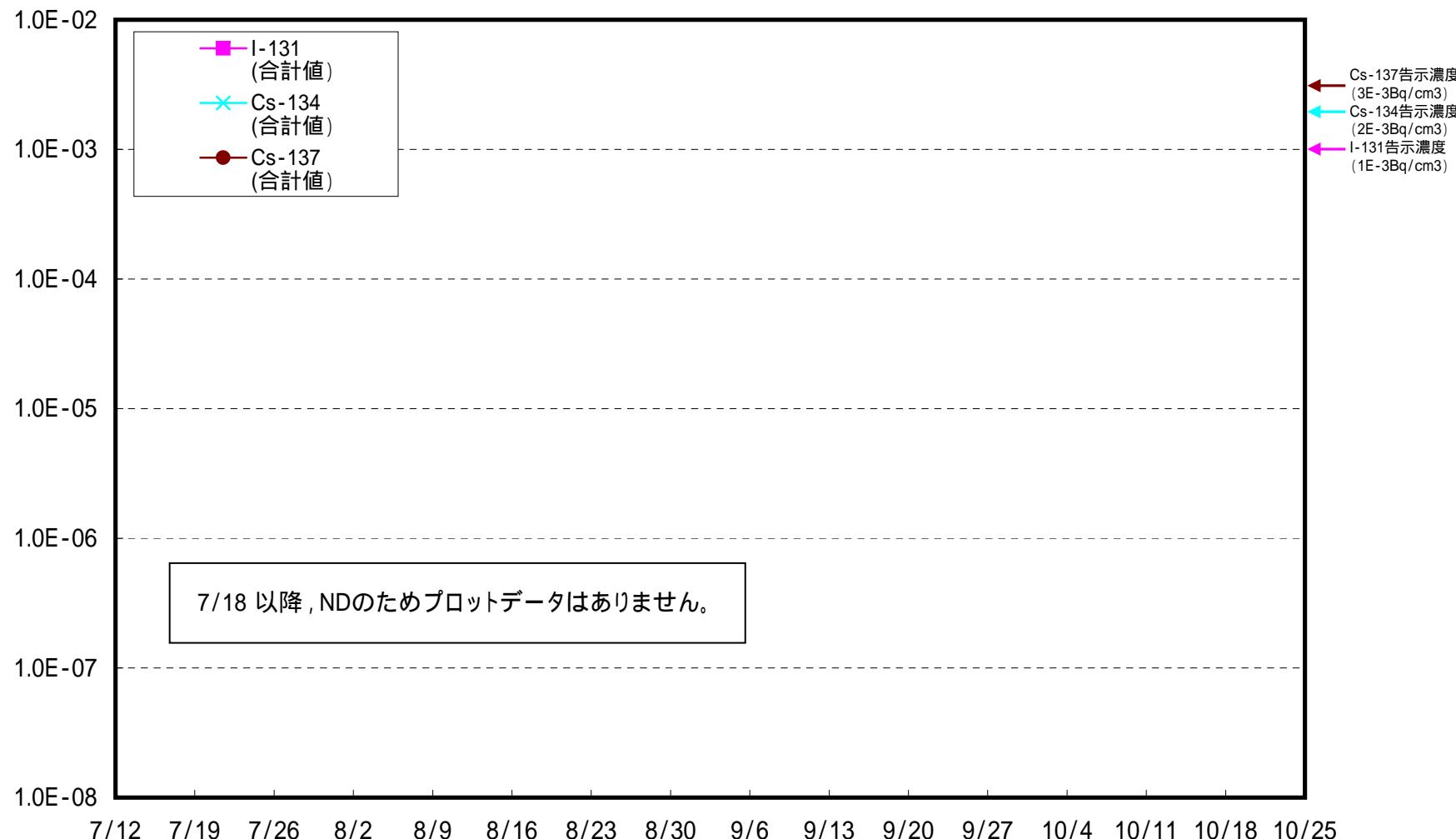
揮発性のI-131が約9E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約9E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。粒子状のI-131が約5E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約8E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

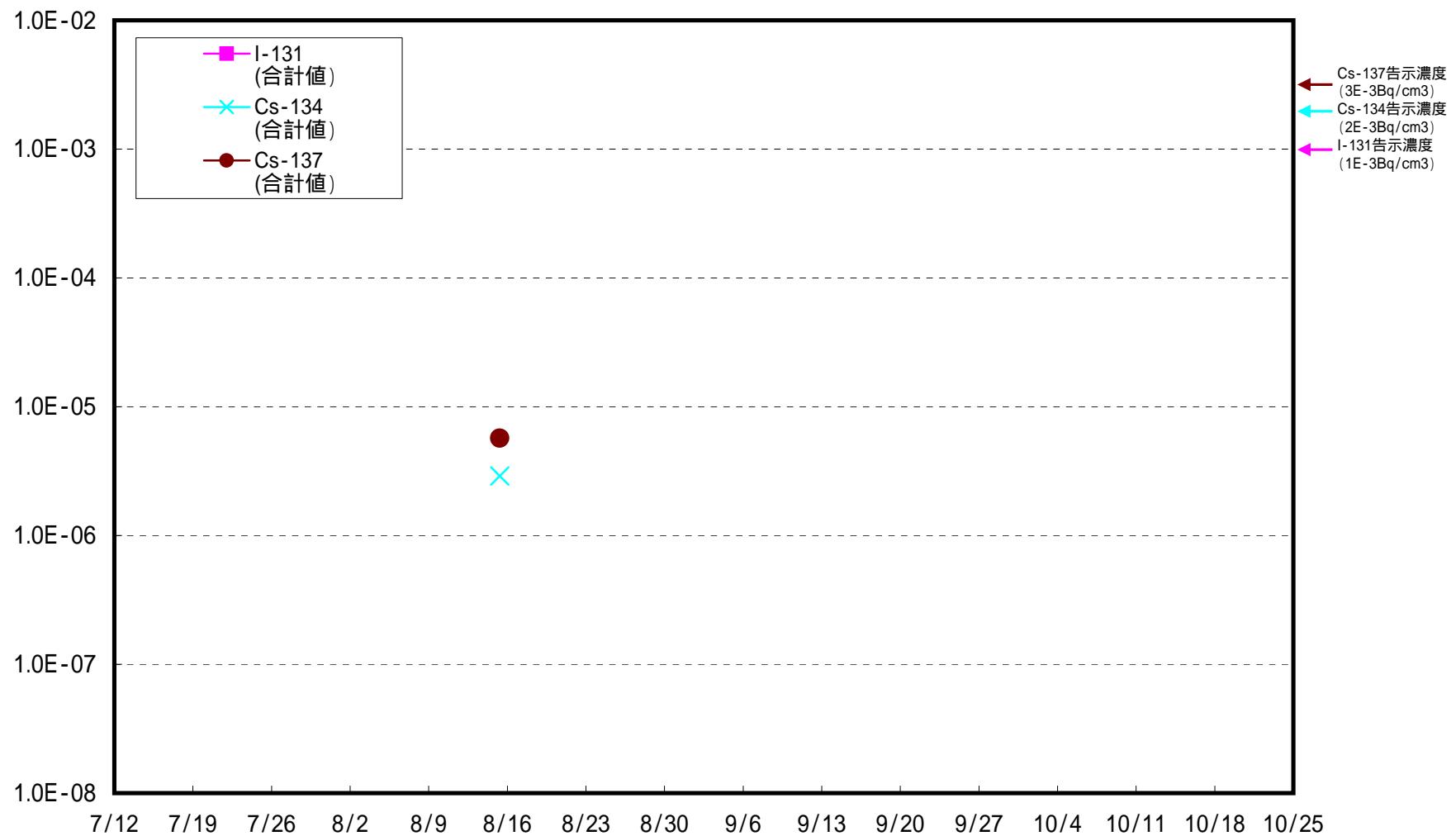
## 福島第一 西門 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)



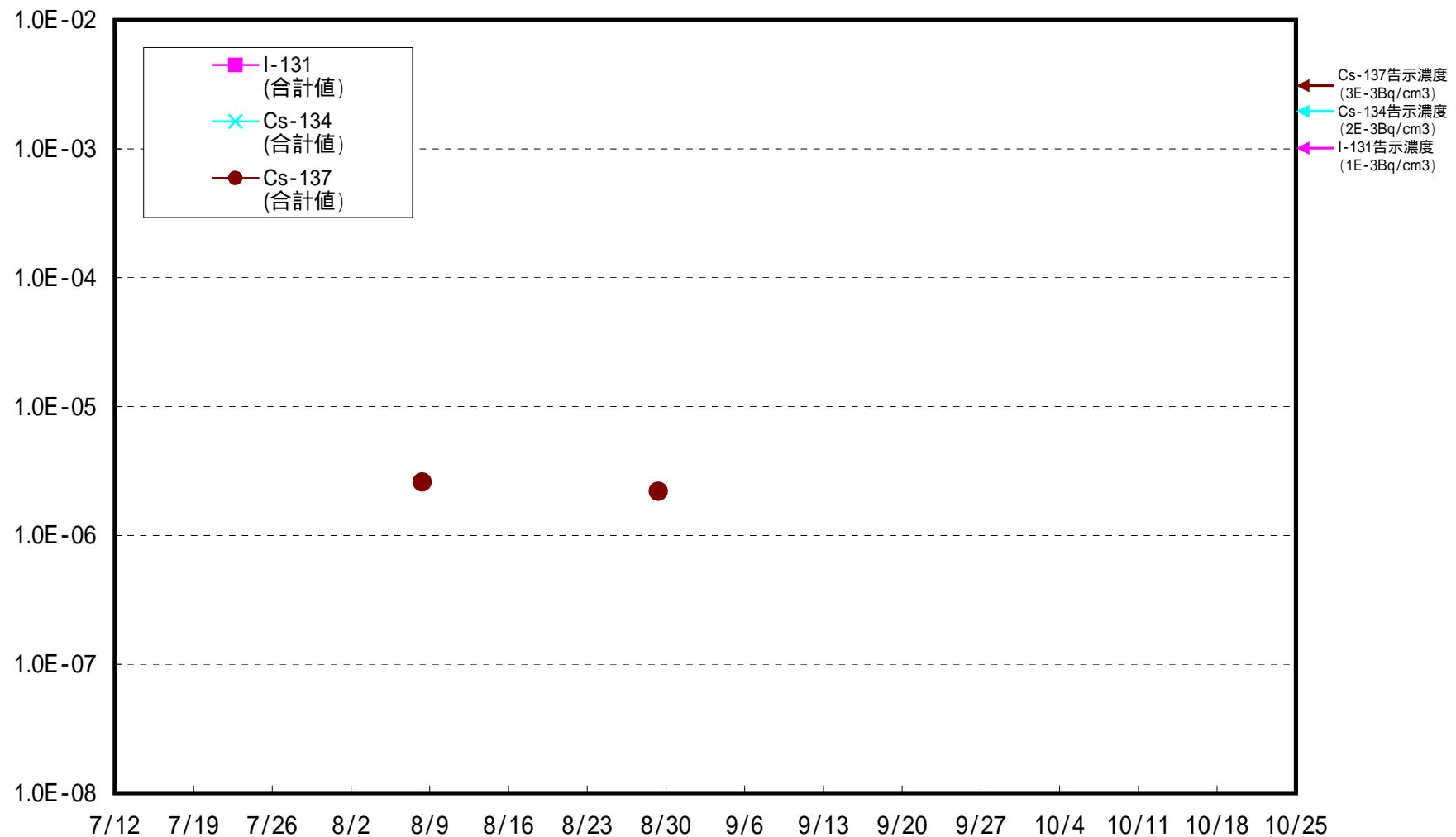
## 福島第一 1号機北側法面上 ダスト核種分析結果( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ )



福島第一 1, 2号機西側法面上 ダスト核種分析結果( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ )



福島第一 3,4号機西側法面上 ダスト核種分析結果( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ )



福島第一 1～4号機近傍海側 ダスト核種分析結果( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ )

